



教育宮崎市

※ 令和6年度より、電子版のみでの発行となります



夏号の表紙は
高木兼寛顕彰事業特別大使派遣
東京慈恵会医科大学での集合写真です



CONTENTS

- 01/02 教育委員会の取組
- 03 市内の学校紹介
- 04 教育委員コラム



宮崎小学校の学びについて



ひなた中学校の授業の様子



民間プールを活用した水泳授業



池内小学校の授業の様子

民間プールを活用して水泳授業を実施する「民間プール活用モデル事業」が6月から始まりました。この事業は児童の泳力向上、学校プールの維持管理費の抑制、教員の負担軽減を目的としています。今年度は倉岡小学校、池内小学校、宮崎西小学校の3校で試行的に実施しています。

授業を受けた児童からは「泳ぐのは苦手だけど授業は楽しかった」「来年も民間プールで泳ぎたい」などの感想がありました。

モデル事業終了後には3校の児童、保護者、教員にアンケートを行い、その結果を踏まえて今後の学校プールのあり方について検討する予定です。児童がより良い環境で学習できるように取り組んでまいります。

(問) 企画総務課 0985-85-1822

もとのぼる

国史跡本野原遺跡のシンポジウムを開催！

本野原遺跡は田野町にある縄文時代の集落です。ここでは西日本最多となる113棟の竪穴住居跡が見つかりました。他にも広場や環状に巡る建物跡など貴重な遺構が多く発見されたことから、2004年に国の史跡に指定されました。今年度、国史跡指定20周年を記念して「あつまれ！縄文の広場に」と題したシンポジウムを開催します。



本野原遺跡空中写真



出土した
動物型土製品

奈良女子大学所属の古代スイーツ研究家・前川佳代先生を迎え、縄文時代の食を復元するだけでなく、日本農業遺産となった大根やぐらについても話題を広げ、地元代表の方々と国史跡本野原遺跡のこれからを話し合います。どうぞご参加ください。

日時：9月28日（土）13：15～

場所：田野文化会館（田野地区交流センター）

(問) 文化財課 0985-85-1178



やすい そっけん

安井息軒顕彰小学生使節団を派遣しました

「知の巨人・安井息軒」の功績を学ぶため、小学6年生15名が、7月29日から31日まで東京都内及び埼玉県川口市を訪ねました。派遣に先立ち、安井息軒記念館や日南市で事前学習を行い、ロイロノートを活用しながら、各自で学習テーマをまとめました。

派遣先では、息軒先生のお墓参りや、疎開先の「息焉舎」そくえんしゃ見学など、貴重な体験ができました。また、文化財課職員が事前学習や派遣当日の講師を務め、児童が理解を深められるように解説を行いました。

(問) 生涯学習課 0985-85-1834



安井文庫（慶応義塾大学附属図書館内）についての説明を受ける児童

たかき かねひろ

高木兼寛顕彰事業特別大使を派遣しました

宮崎市高岡町出身の偉人「高木兼寛」のゆかりの地を巡り、功績を学ぶため、8月5日から6日の一泊二日で東京に特別大使を派遣しました。



高木家墓所にて

派遣先では、兼寛先生のお墓参りや兼寛先生が創立した東京慈恵会医科大学の前身となる成医会講習所跡や国会議事堂などを見学しました。

今回の派遣の重要な訪問先である東京慈恵会医科大学では、松藤学長や石渡教授の講話がありました。みんな真剣に話を聞き、積極的に質問をし、学びを深めることができました。

(問) 生涯学習課 0985-85-1834



東京慈恵会医科大学にて



マイプログラム
の様子です

宮崎小学校

宮崎小学校
ホームページ▶



「学びたい！」 「やってみたい！」

本校では、教育活動の創造を通して、児童の生きる力を育むための取組を行っています。

1つ目は、「マイプログラム（自由進度学習）」です。複数の教科を組み合わせ、児童一人一人が学習方法や進め方を自分で決定します。それぞれのペースに合わせて、生き生きと学習に取り組む子ども達の姿が見られます。

2つ目は、「けやきタイム（個人総合）」です。興味・関心のあるテーマを選び、試行錯誤を重ねながら、自分が立てた目標の達成に向かって活動する探究的な学習です。

生涯にわたり、生きて働く力を身に付けるために、子ども達も教職員も頑張っています。

けやきタイムで
スライムづくり
をしました

ひなた中学校

ひなた中学校
ホームページ▶



校訓は「挑戦・誇り・感動」 県内初の夜間中学開校

ひなた中学校は、本年度4月に開校した夜間中学です。「ひなたチャレンジ・ひなたプライド」を合言葉に、10代から70代の生徒の皆さんが生き生きと学んでいます。多様性を認め合い、「学ぶ喜び・つながる喜び・生きていく喜び」を日々感じられる学校をめざし取り組んでいます。

入学対象は、(1)学齢期を超えた方 (2)中学校を卒業していない方や様々な事情で義務教育を十分に受けることができなかった方（国籍は問わない）(3)宮崎県内に居住し通学が可能な方の(1)から(3)をすべて満たす方です。4月入学と10月入学があります。入学をご検討の方は、宮崎市教育委員会学校教育課（0985-85-1825）にお問い合わせください。

授業の
様子です





教育委員
片山 今日子

これからの教育について

今、世の中では、「多様性」という言葉が多く聞かれるようになってきました。

教育の現場でも、「主体性」「協働性」と並び「多様性」が叫ばれるようになり「多様性を認めましょう」「多様性を尊重しましょう」等の言葉を聞くようになりました。

「多様性」を知ること

多様性は、他者を知るだけではなく「他者を知って自分を知る」ことにつながると考えています。自己肯定感も幸福度も低い日本。幼い頃から「みんなと同じでないといけない」と人と比較をしてきたため、このような結果になっているのではないかと感じています。「多様性」を知ることが、自分を知り、肯定することです。どのような自分も肯定できると、幸福度が上がるのではないかと考えています。また、「多様性」を知ることが当たり前になれば、「主体性」も徐々に出て、お互いの得手不得手を補い合う「協働性」もついてくることでしょう。

みんな違っていい

子どもの頃から「主体性」「協働性」「多様性」の中で育つことは、誰ひとり取り残さない社会を作るための土台になると感じています。学校教育の現場だけではなく、地域や家庭でも「みんな違っていい」ということを伝えていくことが必要です。

私も「みんな違っていい」という当たり前のことを知り、子ども達の多様な思いに耳を傾けられる大人でありたいと考えています。